

## 【2022年6月 月間予定表 —修学院校—】



6月の予定		
1	水	第2回中3V模試 [国理社]
2	木	
3	金	
4	土	休校日
5	日	
6	月	
7	火	休校日
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	『高校入試分析会』(修学院校)
12	日	
13	月	●学習報告会開始
14	火	休校日
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	休校日
19	日	
20	月	
21	火	休校日
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	『定期テスト攻略講座』(修学院中対象)
26	日	『定期テスト攻略講座』(修学院中対象)
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

## 【4月度のMVP】

## ●小4 S・S くん

4月の算数テストにおいて、両方のテストで**トップ3**に!! 目指せ1位!!

## ●小5 T・G くん

算数「体積」の単元テストにおいて、なんと**100点**!! 次もこの調子で!!

## ●小6 N・S くん

4月の算数テストで**好成绩**!!

## 6月行事について

●入試分析会・・・2022年度中学・高校入試総括と2023年度入試展望をお伝えします。

## 【自分の限界を超える法】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。  
さーて6月ですね。個人的に6月って、ちょっとだけ特別な月なんです(^\_^)  
ヨメ「ぼちぼち娘の誕生日やしプレゼントとかいろいろ考えてよ!」  
わたし「えっ! 娘って7月じゃなかったっけ??」  
ヨメ「そうやけど、もうすぐやん!」  
わたし「いやいやいやいや!! その前に6月に誕生日の人間がいたやろ?」  
ヨメ「ん? そんな人いたっけ?」  
わたし「・・・」  
……………まっ、いいんですけどね。毎年のことなので(´▽`)苦笑

私の友人で、16歳からお付き合いし、14年後に結婚、もうすぐ結婚して20年を迎える男女のカップルがいます。いろんな人からこう聞かれるそうです。

「お付き合いが長続きする秘訣は何ですか?」と。その友人は決まってこう答えるそう。「決めていたからです」

もう始めから、付き合い始めた16歳の時から、結婚することを決めていたというのです。考え方、生き方って、その根本は、自分自身の「選択」なんですね!

コーヒーを自分の服にこぼしてしまったとき、「困った」と受け止めればピンチになります。けれど「軽くふくだけで汚れがとれるクリーナーを開発しよう」と思えば、未来を変えるすばらしいチャンスになります。

すべての出来事は前向きに考えればチャンスとなり、うしろ向きに考えればピンチとなる。問題が起きたことが問題ではなく、どう考えたかが本当の問題なんです。ピンチとチャンスは同じ状況。あなたがどっちを「選択」するか。そこを決めるだけ。

アウトドアビジネスとアウトドアの趣味を両立しているモンベル創業者の辰野勇会長。「あなたの生き方がうらやましい」という質問には決まってこう答えています。

「だったらあなたもそういう生き方を選択すればいい」

戦国時代、今川義元という大名がいました。

この男、敵に攻められても、自分の兵力は温存して、よその国の兵隊に自分の国を守らせたりするワルでした。

いつも代わりに“トクさん”に兵隊を出させて戦ってもらっていました。

なぜそんなことができたかという、トクさんのところの跡継ぎを人質にとっていたため、トクさんは逆らえなかったのです。

戦うのはトクさんの兵隊。でも、戦に勝っても恩賞はもらえないのです。

トクさん! なんてツイていないんだ! 普通、そう思います。

でも、こう言った人がいたのです。

「マズいって。それじゃ、トクさん家の兵隊ばっか強くなるよ」

そういったのは、木下藤吉郎、のちの豊臣秀吉です。秀吉、当たっていました。

トクさん家とは徳川家。はい。徳川家康、最後は天下をとっちゃいました。

人生、ツイてないと思っても、ホントは一番ツイているのかも。

人は、ツイてないと思うときにこそ、実力をつけているのかも。

まずは「現在」を受け入れること。

いまの境遇を受け入れたら、体から力が抜けます。

おぼれたときに、体の力を抜くと水面まで浮かび上がるように、脱力してリラックスして、流れにまかせると、かえって勢いに乗れるのです。

車に交通安全のお守りを5つも6つもつけている人がいますが、たくさんお守りをつけている人ほど事故にあう確率が高いそうです。「事故にあいたくない」という、その執着の強さが“よけいな力”となっているからではないでしょうか。

風に身をまかせてしまったほうが、体の力が抜けて、結果的に人生の流れに乗ることができます。

人は不思議なことに、「変わらなければいけない」と思っているうちは変わらないのに、「ありのままがいい」と思うと変化し始めます。

「どこでも同じだ、と思った人だけが、どこにでも行ける」by きつかわゆきお

いまの自分を、いまの環境を、ありのまま受け入れること。

それが「人生」という偉大なる航路への出発点です。

塾長 山田 大介